

Strix 5 : 69-70 (1986)

## 茅ヶ崎市で越冬したアカガシラ サギ *Ardeola bacchus* について

新倉三佐雄<sup>1</sup>・武裕一郎<sup>2</sup>

1985年から'86年にかけての冬、神奈川県茅ヶ崎市市内2か所で、アカガシラサギ *Ardeola bacchus* が越冬するのを観察したので報告する。場所は、茅ヶ崎市赤羽根の湿田及び茅ヶ崎市中島から萩園にかけての小出川である。赤羽根の湿田では、'85年12月21日、12月23日、12月26日、12月29日、'86年1月5日に観察された。中島から萩園にかけての小出川では、'86年2月2日、2月9日、2月16日(白井勝之氏)に観察された。いずれも観察羽数は1羽で、後に述べる形態が同一であることから判断して、同一個体である可能性が高い。

### 1. 越冬場所の環境

赤羽根の湿田は、相模湾の海岸線より北側内陸方向に約3km入ったところに位置し、面積約20haである。北側より続いてきた30~50mほどの丘陵の南側のすそに位置するため冬でも温暖で、1983年冬には、この湿田の西側部分でタカブシギ小群が越冬した(新倉1985)。今回、アカガシラサギが観察されたのは、湿田の東側部分で、道路と集落によって区切られた面積約2haの狭い場所である。この場所は、南側に国道のバイパスが建設中であり、また湿田の埋立て畑地化も進められており、湿田の面積は年々減少している。

赤羽根の湿田から西へ約5kmのところの中島から萩園にかけて流れる小出川がある。小出川は、相模川の支流で、相模川河口近くの合流点より2~3kmさかのぼった中島から萩園にかけては、川幅が約25mで両岸に堤防が築かれている。

### 2. 形態及び行動

観察されたアカガシラサギは、大きさが近くで行動していたコサギに比べ一回り小さく、頭から首にかけて濃い褐色の縦斑がスジ状に入っていた。背は淡い黒褐色で、腹、尾、翼は白色で飛ぶとその白色部がよく目立った。足は淡い黄色で、嘴は先端が黒いほか黄色で、とくに下嘴の黄色味が強かった。

赤羽根の湿田では、枯れた二番穂の間を歩きながら移動し、ドジョウを採餌した。移動は、まれに尾を上下する行動をまじえながらゆっくり行なったが、餌をとるときは、すばやく嘴をのぼし湿田にいるドジョウをはさみとった。また、湿田の中をはしる幅約1.5mのコンクリート製の用水路で採餌を行なった。この場合は、用水路のふちでじっと水面をのぞきこみ、飛び込むようにしてドジョウを嘴ではさみとると、反対側のふちに飛び移った。餌場の湿田に人が進入すると、近くのクロマツの低木に飛び移りじっとしていた。鳴き声は聞かれなかった。

本文をまとめるにあたり、中村一恵氏に本種の同定について助言をいただくとともに白

1986年10月9日受理

- 〒253 茅ヶ崎市出口町4-31 (神奈川支部)
- 〒253 茅ヶ崎市松林1丁目3-2

井勝之氏に貴重な観察記録の提供をいただいた。両氏に厚くお礼申し上げます。

文 献

新倉三佐雄. 1985. 茅ヶ崎市におけるタカブシギ小群の越冬について. *Strix* 4 : 56-57.

Chinese Pond Heron (*Ardeola bacchus*) wintering in Chigasaki City

Misao Niikura<sup>1</sup> and Ichiro Take~~hiro~~<sub>yu</sub>

A Chinese Pond Heron (*Ardeola bacchus*) was seen from December 1985 to February 1986 in an Akabane rice field and on a Koidegawa riverside in Chigasaki City.

We observed the heron catching loaches in the harvested rice field.

1. 4-31, Deguchi-cho, Chigasaki-shi, Kanagawa 253
2. 1-3-2, Matsubayashi, Chigasaki-shi, Kanagawa 253